

国立国語研究所学術情報リポジトリ

〈著書紹介〉 前川喜久雄 監修／田中牧郎
編 『コーパスと国語教育』

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2016-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田中, 牧郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00000833

前川喜久雄 監修／田中牧郎 編

『コーパスと国語教育』

講座 日本語コーパス 4

2015年12月 朝倉書店 A5判 216ページ 3,700円＋税

田中 牧郎



1. 本書について

本書は、2006～2010年度にかけて国立国語研究所を中心に行われた特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21世紀の日本語研究の基盤整備」（研究代表者：前川喜久雄）の成果をまとめた、『講座日本語コーパス』全8巻の中の第4巻（5冊目の配本）である。『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（The Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 以下 BCCWJ）を中心としたコーパスを、国語教育の研究や実践にどのように役立てるのかについて具体的に記述されている。執筆に当たったのは、上述の特定領域研究の中に設けられていた計画研究「言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用」（言語政策班）のメンバーである。

2. 本書の構成

本書は、以下に示す5章と付録とから構成されている。

- 第1章 国語教育の基盤としてのコーパス—語彙の視点から（田中牧郎）
- 第2章 語彙教育とコーパス（鈴木一史・田中牧郎・河内昭浩）
- 第3章 作文教育とコーパス（河内昭浩）
- 第4章 漢字教育とコーパス（河内昭浩・棚橋尚子）
- 第5章 国語政策とコーパス（田中牧郎・相澤正夫）
- 付 録 国語教師のための語彙表の作り方（近藤明日子）

3. 本書の内容

本書は BCCWJ によって現代社会における日本語をとらえ、小・中・高等学校で使われている全教科の教科書を対象とした「教科書コーパス」を作成して学校で教えられている日本語をとらえ、その両者を突き合わせることで、国語教育上の問題を見出し、その問題を改善していく具体的方策について、語彙と漢字に焦点を合わせて研究した結果をまとめたものになっている。以下、章を追って簡単に各章のポイントを記す。

第1章は、上記の2つのコーパスで社会と学校で実際に使われている語彙を正しく把握する方法と、観点を定めて両者を比較することで語彙を分類した語彙データベースを作成することを説明している。その上で、そのデータベースを用いて、「教科専門語彙」と多くの教

科の学習に共通して必要となる「学習語彙」を抽出し、体系化する手順を解説している。

第2章は、従来行われてきた語彙教育実践や語彙に関する教材研究に、教科書コーパス、BCCWJ、第1章で取り上げた語彙データベースを組み入れることで、より効果的な実践や研究が行えることを、具体的な授業や教材に即した形で示している。

第3章は、生徒の知識や語彙の不足から思うように作文が書けないという問題に対して、教科書コーパスやBCCWJを用いて、テーマに応じた語彙集や文章例を生徒に提示することによって、作文教育支援を行った研究の過程を述べている。

第4章は、まず、小学校の学年別漢字配当の見直しや、中学校への学年別漢字配当の導入について、教科書コーパスとBCCWJを用いて具体的に検討した結果を説明している。また、その2つのコーパスから抽出した特定の教科の学習内容に結びついた漢字について、国語科ではなくその特定教科の授業で漢字指導を行う効果と限界について、小学校の社会科で行った実験をもとに報告している。

第5章は、国語教育と深く関連する国語政策に関して、漢字政策における固有名詞の扱いと、難解な語彙をわかりやすく言い換えるための語彙整理を取り上げて、BCCWJを中心とするコーパスに基づいた政策的観点での語彙研究・漢字研究の方向性を指し示している。

そして付録では、国語教師がコーパスを使った語彙表を作成する場面を想定して、その具体的手順を解説している。Excelの基本的な機能を使ってできる範囲の作業が平易に書かれており、国語教師が教材研究や語彙指導を行う際に、実際にコーパスを使う手引きとなっている。

4. 本書の意義

国語教育の研究分野では、日本語教育や日本語学の研究分野に比べて、これまでのところコーパスはあまり使われておらず、おそらく本書がはじめての研究書・解説書であろう。学習指導要領をはじめとした国の教育政策は、社会の変化や、それにともなう必要とされる日本語能力が変わってくることによって、改訂が繰り返されている。例えば、現行の学習指導要領では「言語活動の充実」が打ち出されており、次期の学習指導要領に向けての改訂作業では、現在、日本語と外国語を総合した言語能力の向上を図る方策が検討されている。それに伴って、国語教育の分野では、常に新しい教育内容や教育方法が求められることになる。社会における日本語の実態を反映しているBCCWJなどのコーパスは、現実に使用されている日本語の実態を把握するツールとして、国語教育の分野でも役立てられるものはずであり、本書がその導きの最初の一冊となれば幸いである。

なお、本書で紹介しているBCCWJや教科書コーパスに基づいた語彙データベースは、BCCWJの「語彙表」を公開しているホームページ (http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/freq-list.html) に、「BCCWJ主要コーパス語彙表」「教科書コーパス語彙表」「学校・社会対照語彙表」などの名前で登録されており、誰でもダウンロードして利用できるようになっている。

田中 牧郎 (たなか・まきろう)

明治大学国際日本学部教授, 国立国語研究所言語資源研究系客員教授。博士(学術)(東京工業大学)。昭和女子大学講師, 国立国語研究所研究員, 同主任研究員, 同グループ長, 同准教授等を経て, 2014年4月より現職。

主な著書・論文: 『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集—』(国立国語研究所報告122, 博文館新社, 2005), 『分かりやすく伝える 外来語言い換え手引き』(国立国語研究所「外来語」委員会編, ぎょうせい, 2006), 『病院の言葉を分かりやすく—工夫の提案—』(国立国語研究所「病院の言葉」委員会編, 勁草書房, 2009), 『近代書き言葉はこうしてできた そうだったんだ! 日本語』(岩波書店, 2013), 『コーパスと日本語史研究』(共編著, ひつじ書房, 2015)。

社会活動: 日本語学会評議員, 日本語学会『日本語学大辞典』編集委員主任, 明治書院『日本語学』編集委員, 日本医学会用語管理委員会委員, 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会言語能力の向上に関する特別チーム委員。